

秋田県 森林産業分野における地域産業クラスター計画の概要

1. 産業領域

森林資源・木材製品を核とする森林産業領域

2. 対象エリア

スギ人工林全国一を誇る秋田から、ドローンはじめデジタル空間、クラウドなどのデータ資源やインフラ（Sky）を活用し、AIやロボティクスによる魅力ある稼げる森林産業モデルを創出し、世界の森林産業関係者が秋田に集まる拠点を目指す。

- (1) 県北エリア（能代市・大館市・北秋田市・上小阿仁村・鹿角市周辺）
▶ 県内最大の木材加工・流通の集積、ドローンtoハウジング実証拠点（基盤①③）
- (2) 県央エリア（秋田市・男鹿市・五城目町・井川町・由利本荘市周辺）
▶ 人材バンク、データ基盤、開発ハード・ソフトの実証拠点（基盤①④）
- (3) 県南エリア（仙北市・大仙市・横手市・湯沢市周辺）
▶ 木材資源供給・次世代AI・ロボティクス技術の開発実証拠点（基盤①②）

※計画推進の核となる事業体

- ・ドローン・フィジカルAI・ロボティクスによる森林産業の付加価値向上・生産性向上等に投資・取組意欲のある民間企業等
- ・県内の森林産業を支える森林組合・林業事業体・関連企業等

※この他、関係市町村、大学・研究機関と連携して取組を実施

あきたSky-Forestry戦略:ドローン×フィジカルAIで盛り拓く魅力ある稼げる森林産業への挑戦

政策Ⅰ 生産・搬出

Sky-Forestry

政策Ⅱ 流通・建築

ドローンtoハウジング

政策Ⅲ 造林・再生

次世代型 スマート再造林

政策Ⅳ 管理・整備

ふるさとの森 デジタル・フォレストリー

4つの政策で導く「4つの産業基盤」



生産性・収益向上／労働安全・魅力向上／収益多様化・森林付加価値向上／森林産業人材の育成
魅力ある稼げる森林産業の「秋田モデル」を創出し、世界の森林関係者が集う拠点へ！

3. 目指す姿（目標）

- ▶ 秋田モデルを創出し森林産業関係者が集う拠点をを目指す。
- ▶ 森林産業の生産性・収益性、森林・木材の付加価値を向上させると共に、AI等が活用可能な高度技術人材を育成する。
- ▶ 目標達成に向けて主に以下のKGI等を設定する。

○官民投資額（億円）

※民間投資を呼び込む取組により5年後（R12(2030)）に50億円を目標。ただし投資額は目標額であり確定値ではない。

R6(2024)	R11(2029)	R18(2036)
—	32(皆増)	154(+122)

○地域付加価値向上（億円）

※生産された丸太を製品として加工し付加価値を付け出荷する際の県産材出荷額。

R6	R11	R18
404	531(+126)	637(+106)

○地域人材力強化（人）

※林業大学校・大学・研究機関を通じた研修やリスキリング等により育成される高度技術人材。

R6	R11	R18
—	160(皆増)	440(+280)

○林業産出額（億円）

※森林から生産された丸太（素材生産）等から産出される金額。

R6	R11	R18
200	240(+40)	276(+36)

○Jクレジット販売額（億円）

※県内における森林由来Jクレジットの創出によりもたらされるクレジット販売額。

R6	R11	R18
8.9	13.5(+4.6)	18.8(+5.3)

4. 勝ち筋

- ▶ 森林産業の発展に向け4つの産業基盤（レガシー）を構築し、稼げる森林産業のモデル（勝ち筋）創出を目指す。

勝ち筋

- 県内のみならず県外・首都圏・輸出へのマーケット開拓・拡大
- 新築住宅需要低迷を踏まえた非住宅分野への木材利用拡大

①情報 ⇒「デジタルの森」による森林データ基盤整備

- ・資源・需要・炭素価値情報等のデータの一元管理・活用
- ・効率的な路網整備・施業による山林付加価値創出
- ・デジタルの森による関係人口増大・人口減少対策への貢献

②技術 ⇒AI活用型の林業機械による生産・安全性向上

- ・フィジカルAI等の開発・情報・研究・技術に係る集約拠点
- ・技術企業・スタートアップ・研究機関等による実証・事業化推進
- ・高効率な施業・路網技術による省力化・安全性・生産向上

③収益モデル ⇒需給連動型流通システム・付加価値創造

- ・需給連動型流通システムによる森林全体の歩留まり向上
→原木流通の効率化
- ・脱炭素価値の効率的創出等多様な収益モデルの構築
- ・製品開発・ブランド・トレーサビリティによる木材付加価値向上

④人材・ネットワーク ⇒高度技術を扱う人材・企業等集積

- ・AI・データ・ロボティクスを連結し扱える森林産業人材育成
- ・高度技術を扱う企業・研究者・投資家・事業者が集う拠点

5. 政策手段

- ▶ 4つの産業基盤と勝ち筋の創出に向けて、以下政策を展開する。

◆政策Ⅰ Sky-Forestry(基盤①②④)

- ・フィジカルAI開発関連ベンチャーの誘致・連携
- ・大型ドローン伐採やAI搭載高性能林業機械の開発・実証
- ・林業大学校・大学・研究機関等と連携したリブランニング
- ・高付加価値製品を創出可能な高度加工技術人材の育成

◆政策Ⅱ ドローンtoハウジング(基盤①③④)

- ・ドローン測量等による資源量調査・デジタルの森クラウド化
- ・木材検収システム開発と木材流通システムとの連携
- ・森林から製品・建築まで繋ぐ木材流通・需給システムの開発
- ・生産性・付加価値向上のための森林・路網整備の検証
- ・あきた材のトレーサビリティとブランド材認証制度のシステム化

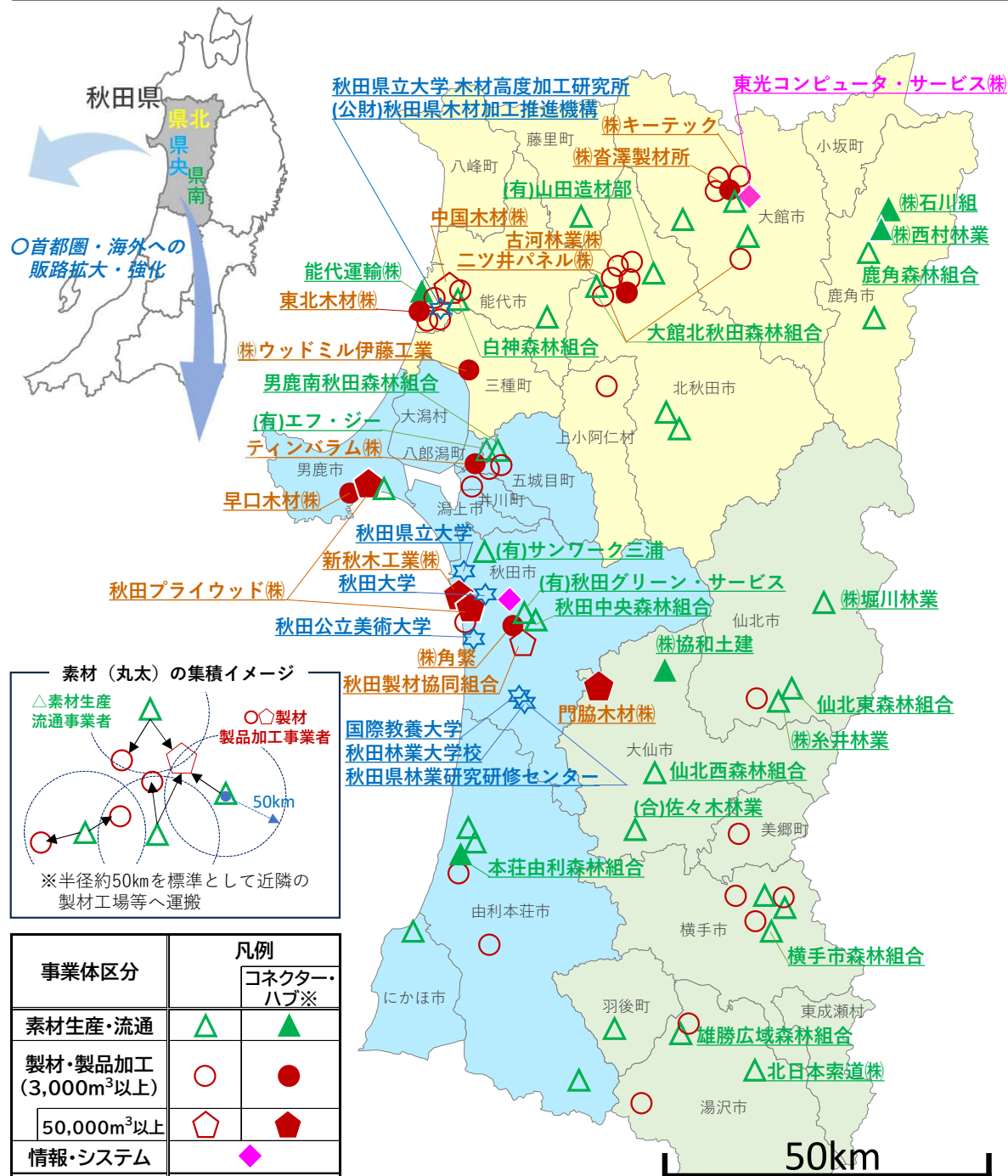
◆政策Ⅲ 次世代型再造林・保育の実装(基盤①②③)

- ・再造林軽労化システムの開発・実証
- ・自動下刈システムの開発・実証

◆政策Ⅳ ふるさとの森デジタル・フォレストリー(基盤①③)

- ・県外在住不在市町村所有森林を管理するシステム開発
- ・秋田の森林管理のための首都圏での相談会の実施

秋田県 森林産業分野における地域産業クラスター計画の概要（地域内の集積状況）



核となる事業者

■素材生産・流通

- ・本荘由利森林組合
- ・有限会社グリーンサービス

■情報・システム

東光コンピュータ・サービス株式会社

■ 県外協力・参画事業者

株式会社チェンジホールディングス

■製材・製品加工

- ・秋田プライウッド株式会社
- ・中国木材株式会社
- ・秋田製材協同組合

ほか90者



(有)秋田グリーン・サービス(秋田市)
高性能林業機械を駆使した素材生産



秋田プライウッド(株) (秋田市・男鹿市)
合板・内装材等の安定供給



中国木材(株) (能代市)
集成管柱・構造材等の安定供給



素材生産事業者による丸太の安定供給
(全国第3位：120万m³/年)



秋田製材協同組合（秋田市）
無垢柱・板材等の安定供給



(株)キーテック（大館市）
集成大断面・CLT等の安定供給

人材育成・研究拠点

■森林産業の生産性・収益性、森林・木材の付加価値の向上に向けた

AI・ロボティクス等が活用可能な高度技術を有する人材を育成。

■魅力ある稼げる森林産業の「秋田モデル」創出に向けた技術の開発。

- ・秋田大学
- ・秋田県立大学（共創の場形成支援プログラム（COI-NEXT）との連携等）
- ・秋田県立大学 木材高度加工研究所／(公財)秋田県木材加工推進機構
- ・秋田公立美術大学
- ・国際教養大学
- ・秋田県林業研究研修センター／秋田林業大学校



秋田林業大学校／林業研究研修センター
➤林業生産性向上に向けたICT技術
の活用等を研修



秋田県立大学／木材高度加工研究所
➤木材需要拡大に向けた木材の高度加工技術開発、人材育成等を実施